

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所:プライム市場

証券コード:8732

---

2022年3月期

# 決算説明資料

---

2022年5月11日

# エグゼグティブ・サマリー (2021年4月～2022年3月)

## 連結決算概要

営業収益	5,323 百万円 (前年同期比 808 百万円 (17.9%) 増↑)	営業利益	956 百万円 (前年同期比 1,566 百万円 増↑)
経常利益	997 百万円 (前年同期比 1,626 百万円 増↑)	最終利益	736 百万円 (前年同期比 1,786 百万円 増↑)

## 配当額

1株当たり **7** 円の増配

	<今期>	<前期>
中間配当	3.75円	0.5円
期末配当	3.75円	無配
年間配当	7.5円	0.5円

## 営業 ハイライト

### パートナーズFX nano

「米ドル/円」スプレッド0.0銭(売買同値)、「ユーロ/円」スプレッド0.0銭(売買同値)をはじめ主要取扱通貨ペアで業界最狭水準のスプレッド提示

### パートナーズFX

ゴールデンマネパタイム(17:00～26:00)中、合計13通貨ペアにて業界最狭水準スプレッドを提示(4月からは計14通貨ペア)

## I. 連結決算の概況

## II. 営業ハイライト

II-a 2022年3月期 Q4のマネパ

II-b 2023年3月期 Q1からのマネパ

## III. プライム市場の選択及び計画書取組進捗について

## IV. 当社の経営目標及び株主還元について

## V. 参考資料



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

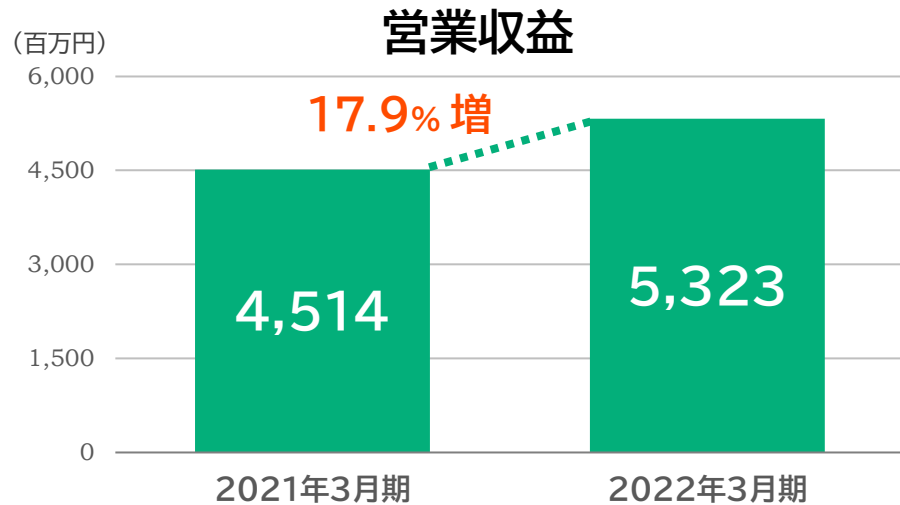
株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年5月11日現在において利用可能な情報に基づきなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

# I. 連結決算の概況



# 2022年3月期(2021年4月~2022年3月) 通期連結業績



営業収益 **808**百万円 増

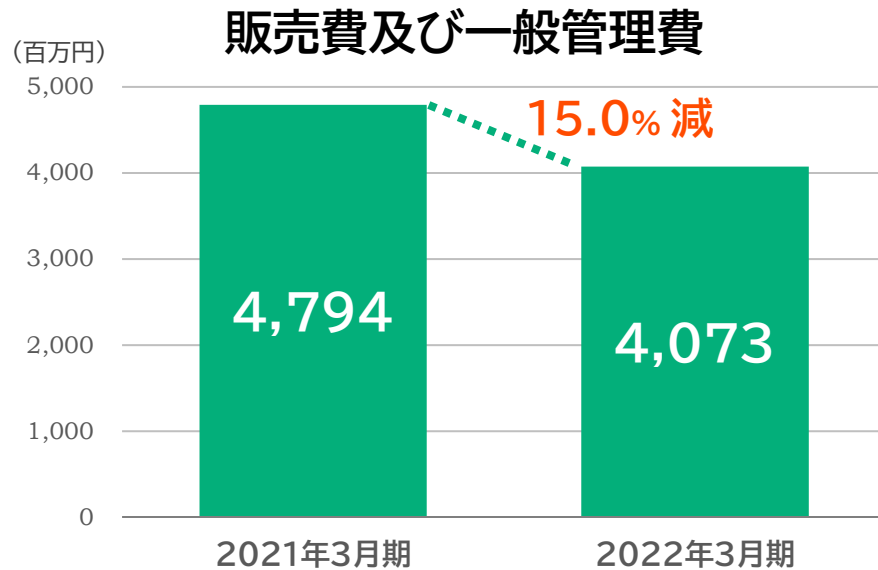
### 主な増加の要因

◎トレーディング損益が約8億円増加

◇ 営業施策の転換

パートナーズFXnanoでの米ドル/円 スプレッド  
0.0銭の提示を始めとして、複数の主要取扱通貨ペア  
にて**業界最狭水準スプレッド**を提示する 等

◇ スワップカバー手法の弾力的な運用



販売費及び一般管理費 **720**百万円 減

### 主な減少の要因

◇ 不採算事業の見直し

◇ コイネージ株式会社の清算による

費用の減少⇒約7億円

◇ 全社的なコストカットの推進

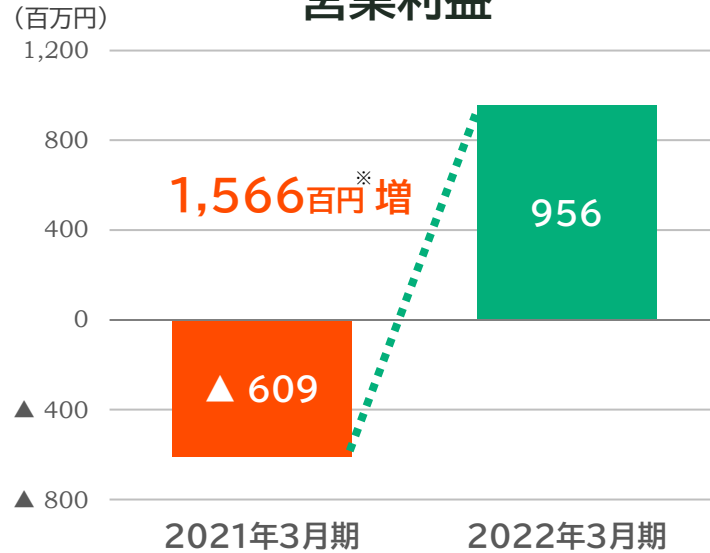
その一方で、新規顧客獲得に注力したことから

広告宣伝費は約21%増加



# 2022年3月期(2021年4月～2022年3月) 通期連結業績

## 営業利益



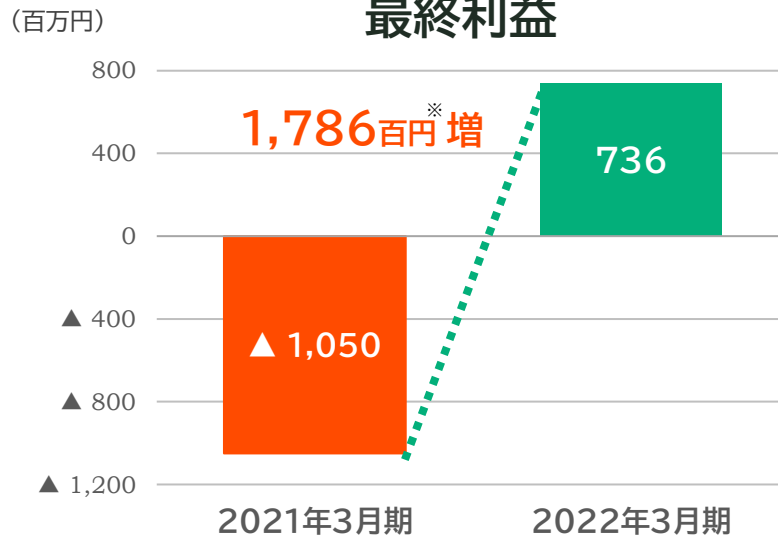
営業利益 **1,566**百万円 増

### 主な増加の要因

- ◇ 営業収益が約8億円増加
- ◇ 販管費が約7億円減少

※ 前年同期の数値がマイナスであることから、パーセンテージではなく増減額を表示しております。

## 最終利益



最終収益 **1,786**百万円 増

### 主な増加の要因

- ◇ 営業利益が約16億円増加
- ◇ 前期に事業撤退損(コイネージ社)など  
約8億円の特別損失を計上
- ◇ 法人税等合計が約6億円増加

※ 前年同期の数値がマイナスであることから、パーセンテージではなく増減額を表示しております。



# 2022年3月期(2021年4月~2022年3月) 通期連結業績

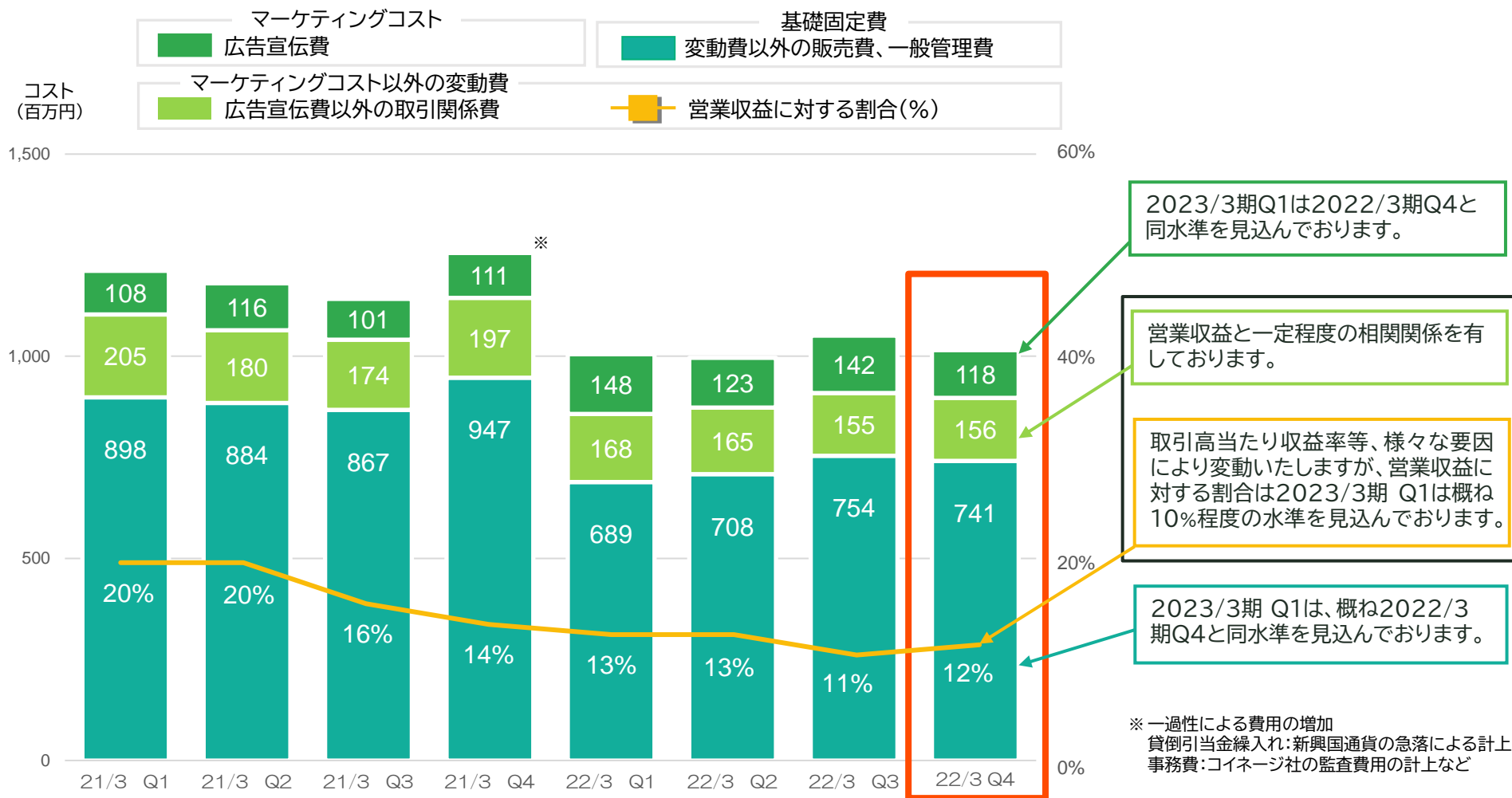
(単位:百万円)

	2021/3期 (2020年4月~ 2021年3月)	2022/3期 (2021年4月~ 2022年3月)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	4,514	5,323	+808	+17.9%
受入手数料	35	39	+3	+9.4%
トレーディング損益	4,254	5,061	+806	+19.0%
金融収益	6	4	▲2	▲39.4%
その他の売上高	217	219	+1	+0.8%
金融費用	206	144	▲61	▲29.8%
売上原価	123	148	+25	+20.6%
純営業収益	4,185	5,030	+845	+20.2%
販売費・一般管理費	4,794	4,073	▲720	▲15.0%
営業利益	▲609	956	+1,566	—
経常利益	▲628	997	+1,626	—
特別利益	0	31	+31	—
特別損失	763	10	▲753	▲98.6%
税金等調整前当期純利益	▲1,392	1,017	+2,410	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,050	736	+1,786	—



# 四半期連結固定費、変動費推移と今後の動向

2023年3月期第1四半期のマーケティングコストは既存のお客様への商品訴求はもとより、新規顧客獲得に注力、企業認知度向上を図る施策を継続することから2022年3月期第4四半期と同水準を見込んでおります。また、基礎固定費についても同様です。



# 四半期連結販管費推移(販管費内訳及び主要費目の推移)

## < 主な増減要因 (2022年3月期 第4四半期(1月~3月)と 第3四半期(10月~12月)の比較) >

取引関係費 (減少): 広告宣伝費の施策的要因による減少

内、広告宣伝費 (減少): 12月には暗号資産CFDサービスリリースに伴う広告宣伝費増加あり

事務費 (減少): Q3にはIR活動等の費用計上、中間報告書発注などの季節的要因あり

(単位:百万円)

	2021/3期				2022/3期				前第2四半期対比増減	
	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	増減額	増減率
取引関係費	313	297	276	309	317	289	298	274	▲23	▲8.0%
人件費	291	285	273	267	207	200	216	214	▲1	▲0.8%
不動産関係費※	168	163	156	166	142	132	145	154	+8	+5.7%
事務費	224	229	222	248	191	209	228	209	▲18	▲8.3%
減価償却費	153	173	173	158	135	137	134	126	▲8	▲6.0%
租税公課	31	15	22	12	22	25	21	23	+2	+9.5%
貸倒引当金繰入れ	▲1	▲0	▲0	74	▲26	▲6	▲1	▲1	+0	▲35.4%
その他	30	17	18	19	17	8	9	13	+4	+52.2%
販売費・一般管理費計	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053	1,016	▲36	▲3.5%
(主要な費目)										
広告宣伝費 (取引関係費に含まれる)	108	116	101	111	148	123	142	118	▲24	▲17.3%

※不動産関係費には、不動産費の他、器具、備品費が含まれております。

# Ⅱ. 営業ハイライト



# Ⅱ - a 2022年3月期 Q4のマネパ

## パートナーズFX nano

- ◆ FX業界初 1回当たり当社所定の注文数量までのお取引で  
米ドル／円 スプレッド **0.0銭**(売買同値) 原則24時間提示を恒常化<sup>※</sup>
- ◆ 1回当たり当社所定の注文数量まで豪ドル／円、ポンド／円、ユーロ／円、トルコリラ／円の主要取扱通貨ペア  
にて業界最狭水準スプレッド 原則24時間提示を恒常化<sup>※</sup>

## パートナーズFX

- ◆ 米ドル／円の業界最狭水準スプレッド **0.2銭**をはじめ豪ドル／円、ユーロ／円、ポンド／円の4通貨ペアにて  
業界最狭水準スプレッド提示を続行
- ◆ メキシコペソ／円の業界最狭水準スプレッド **0.1銭**をはじめとする南アランド／円、NZドル／円、カナダドル／円、  
豪ドル／米ドル、ポンド／豪ドル、ユーロ／豪ドルの7通貨ペアにて業界最狭水準スプレッド提示を開始

## 全体

- ◆ 2022年3月10日より流動性が高く取引量の多い時間帯(17:00～26:00)を**ゴールデンマネパタイム**とし、  
**業界最狭水準スプレッド**を提示するキャンペーンを実施  
パートナーズFX 計13通貨ペア(4月25日以降は14通貨ペア)  
パートナーズFX nano 計3通貨ペア(4月25日以降は6通貨ペア)
- ◆ パートナーズFX、パートナーズFx nano 必要証拠金ルールの見直し(最大レバレッジ25倍に近いレバレッジ提示)
- ◆ みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」**2022年 第1位** 獲得

※ 原則パートナーズFXnanoにおける一定条件下の取引に限る。一部例外あり

## FX業界初!! 米ドル/円 スプレッド 0.0銭(売買同値) 恒常化!!

- ・2022年1月18日より、米ドル/円で1回あたり取引数量3万ドルまで(4月以降は1万ドルまで)原則24時間<sup>※</sup>スプレッド 0.0銭(売買同値)を恒常化し、また18時から24時の時間帯でも、1回あたり取引数量3万ドル(4月以降は1万ドル)超から20万ドルまでスプレッド0.0銭を恒常化しました。
- ・2022年1月20日より、豪ドル/円、ポンド/円、ユーロ/円、トルコリラ/円の主要4通貨にて、当社所定の注文数量まで原則24時間 業界最狭水準スプレッド(原則固定)を恒常化し、20万通貨までのお取引においても(トルコリラ/円を除く)取引が最も多い時間帯(16:00~24:00)で業界最狭水準スプレッドを恒常化しました。

nano

### 業界最狭スプレッド

米ドル/円 0.0銭 恒常化

注文数量3万通貨まで

24時間 0.0銭

※原則固定(例外あり)  
※メンテナンス時間を除く

第1位  
FX全日本取引所グループ  
MINKABU  
2021年12月  
スプレッド部門

nano 2022年1月20日から

### 業界最狭水準スプレッド

豪ドル/円・ポンド/円  
ユーロ/円・トルコリラ/円 恒常化

 <b>豪ドル/円</b> 5万通貨まで24時間 <b>0.2銭</b>	 <b>ポンド/円</b> 3万通貨まで24時間 <b>0.4銭</b>	 <b>ユーロ/円</b> 3万通貨まで24時間 <b>0.2銭</b>	 <b>トルコリラ/円</b> 5万通貨まで24時間 <b>1.0銭</b>
--	--	--	--

第1位  
FX全日本取引所グループ  
MINKABU  
2021年12月  
スプレッド部門

※ 主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大する場合がございます



## 『米ドル／円』はじめ合計11通貨ペアで業界最狭水準スプレッドを提示(続行)

1回のお取引で100万通貨単位<sup>※1</sup>までお取引いただける「100%の約定力」(お客様が注文時ご覧になられたレートで約定)のパートナーズFXでは、米ドル／円 **0.2銭**をはじめとする、豪ドル／円、ユーロ／円、ポンド／円他のマネーパートナーズの主要取扱通貨ペアのうち計11通貨にてコアタイム(18:00～24:00)業界最狭水準スプレッドを提示しました。

本キャンペーンは3月10日より対象となる取引通貨ペアを**最大14通貨ペア**、対象時間を**17:00～26:00**へと拡大し、**ゴールデンマネパタイム(17:00～26:00)**中に業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンへと進化いたしました。

※1 トルコリラ／円、南アランド／円、メキシコペソ／円は1回のお取引で200万通貨までお取引いただけます。

※2 主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。メンテナンス時間は適用時間に含まれません。

パートナーズFX  
「100%の約定力」  
業界最狭水準スプレッド  
1月10日～1月31日まで 各日18:00～24:00

米ドル／円 0.2銭 原則固定 (例外あり)	豪ドル／円 0.3銭 原則固定 (例外あり)	ユーロ／円 0.3銭 原則固定 (例外あり)	英ポンド／円 0.5銭 原則固定 (例外あり)
------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------

PFX 100%の約定力 & 業界最狭水準スプレッド!  
スプレッド縮小キャンペーン  
※原則固定 (例外あり) 2月21日～3月11日

NZドル／円 0.7銭 18:00～24:00	南アランド／円 0.8銭 → 0.3銭 18:00～24:00	メキシコペソ／円 0.2銭 → 0.1銭 18:00～24:00	カナダドル／円 0.6銭 18:00～24:00
豪ドル／米ドル 0.3 pips 18:00～24:00	ポンド／豪ドル 1.3 pips 18:00～24:00	ユーロ／豪ドル 1.2 pips 18:00～24:00	第1位 スプレッド部門 2022年 1位獲得!



## Ⅱ - b 2023年3月期 Q1のマネパ

### パートナーズFX nano

- ◆ 米ドル／円、ユーロ／円、豪ドル／円、ポンド／円の人気4通貨ペアにて当社所定の注文数量まで業界最狭水準スプレッド**0.0銭**(売買同値)を原則**24時間**提示。  
さらに5月16日より「メキシコペソ／円」でも原則**24時間** スプレッド**0.0銭**(売買同値)の提示を開始予定
- ◆ **ゴールデンマネパタイム**(17:00～26:00 以下同じ。)にて米ドル／円スプレッド**0.0銭**を含た主要6通貨ペアで1回当たりの取引数量20万通貨まで業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施中  
5月16日より「メキシコペソ／円」、「南アランド／円」、「ポンド／米ドル」も加わり9通貨ペアに増加予定

### パートナーズFX

- ◆ ゴールデンマネパタイムにて、4月25日よりトルコリラ／円を追加し、計14通貨<sup>※</sup>にて業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施中
- ◆ 米ドル／円、トルコリラ／円、メキシコペソ／円で継続特典を追加したキャッシュバックキャンペーンを実施

### CFD-Metals

- ◆ ゴールデンマネパタイムにおいて**金／米ドル**、**銀／米ドル**にて業界最狭水準スプレッド**0.2pips**を提示

### 暗号資産CFD

- ◆ 2021年12月6日に暗号資産CFDを開業

※米ドル／円昨今のウクライナ情勢及び日米金利格差拡大の影響を受け、原則固定での安定したスプレッド提示が困難な状況にありスプレッド広告を実施していません。そのため、5月11日現在は計13通貨での実施となっております。

『米ドル／円』、『ユーロ／円』、『豪ドル／円』、『ポンド／円』の人気4通貨ペアにて

業界最狭水準スプレッド**0.0銭**(売買同値)を原則**24時間** 提示

パートナーズFXnanoでは、米ドル／円をはじめとするユーロ／円、豪ドル／円、ポンド円の当社の

人気4通貨ペアにて原則**24時間** 業界最狭水準スプレッド**0.0銭**(売買同値)を提示するキャンペーンをスタートしました。

米ドル／円、ユーロ／円、豪ドル／円は1回あたりのお取引数量**1万通貨**まで、ポンド／円は**5,000**通貨までが本キャンペーンの対象となっております。

さらに5月16日よりメキシコペソ／円でも1回あたりのお取引数量**3万通貨**まで、原則**24時間** スプレッド**0.0銭**(売買同値)の提示を開始予定です。

The banner features a red header with the 'nano' logo, the campaign title 'スプレッド縮小キャンペーン', and the dates '4月11日～5月13日'. Below this, a blue background contains the main promotional text: '人気4通貨ペア 24時間 業界最狭スプレッド 0.0銭'. To the left, four currency pairs are listed with their respective flags and transaction limits: 米ドル/円 (1万通貨まで), ユーロ/円 (1万通貨まで), 豪ドル/円 (1万通貨まで), and ポンド/円 (5,000通貨まで). A note at the bottom left states: '※記載の数量を超えるご注文は適用時間・スプレッドが異なります'. A small note at the top right says '※メンテナンス時間除く'. The text '原則固定 (例外あり)' is positioned to the right of the large '0.0'.





# ゴールデンマネertime(17:00~26:00)中 パートナースFX・パートナースFX nanoで業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施中

2022年3月10日より流動性が高く取引量の多い17:00~26:00の間を**ゴールデンマネertime**とし、パートナースFXでは計13通貨ペア、パートナースFXnanoでは計3通貨ペアにて、一回当たり弊社所定の注文数量まで業界最狭水準スプレッドを提示するスプレッド縮小キャンペーンを実施しておりました。

当四半期に入り4月11日よりパートナースFXnanoでは「**ユーロ/円**」、「**ユーロ/米ドル**」を対象に追加。

さらに、4月25日よりパートナースFX・パートナースFXnanoの双方で「**トルコリラ/円**」を対象に追加し、

パートナースFXでは計**14**通貨ペア※、パートナースFX nanoでは計**6**通貨ペアに対象が拡大致しました。

なお、パートナースFXnanoは5月16日より「**メキシコペソ/円**」、「**南アランド/円**」、「**ポンド/米ドル**」も

対象に加わえ、計**9**通貨ペアにて業界最狭水準スプレッドを提示する予定です。



※米ドル/円は昨今のウクライナ情勢及び日米金利格差拡大の影響を受け、原則固定での安定したスプレッド提示が困難な状況にありスプレッド広告を実施しておりません。そのため、5月11日現在は計13通貨での実施となっております。5月16日以降のスプレッド広告再開を目指しております。

# Ⅲ.プライム市場の選択 及び計画書取組進捗について

# 上場維持基準の適合状況及び基本方針

2022年4月に予定される市場区分の見直しに関して、2021年12月に**プライム市場を選択**する申請書を提出しました。

ただし、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準への適合状況については、流通株式時価総額のみ基準を充たしていない旨の判定を受けております。

基準/市場	プライム市場	当社の数値
流通株式時価総額	100億円	54.4億円

(注) 2021年7月9日 付当社宛「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一時判定結果について」より引用

上場維持基準を充たすために必要と想定される計画期間を、**2026年3月期末まで**としております。

そのため、以下の数値目標を設定し、各種取組を着実に実行してまいります。

(ご参考)

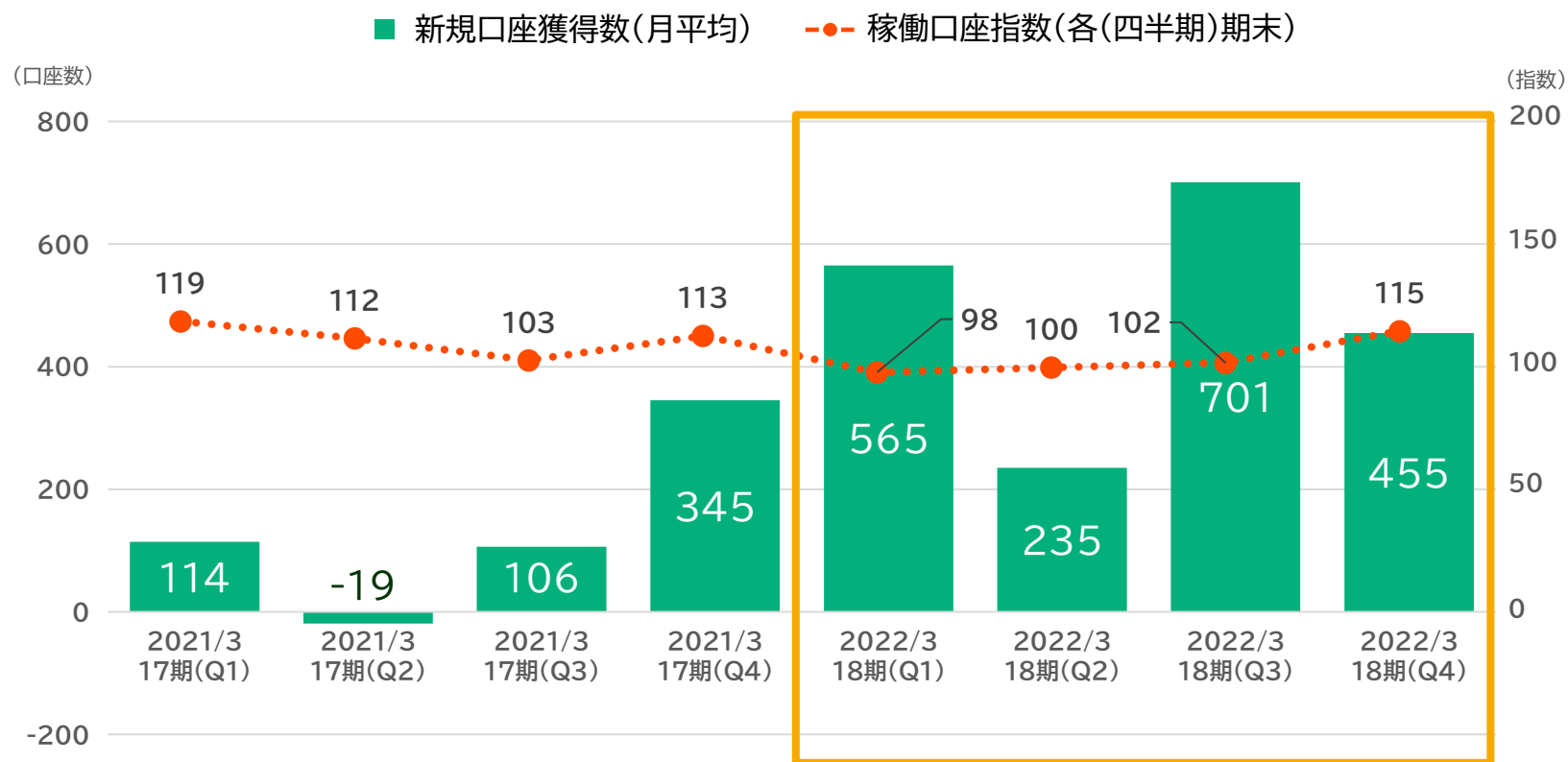
数値目標/年度	2026年3月期	2022年3月期(4Q累計実績)
ROE	8%以上	5.8%
営業収益経常利益率	20%	18.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400百万円	736百万円
EPS	42.95円	23.10円
株 価	554円	
流通株式時価総額	11,720百万円	

# 主な各種取組の進捗状況

## 達成目標 < 2026年3月期中 >

◇ 月次の新規獲得口座数 **2,000**件以上

◇ 稼働口座数の増加（2021年9月を100とした指数で**180**以上）



※ 新型コロナウイルスの影響を受け値幅が10円を超えるボラティルな展開となったことによる一過性の増加

# ■ 主な各種取組の進捗状況

- 既に達成した課題
- ▲ 進行中の課題

課題		取組	期日	進捗
業績の向上	●	暗号資産CFDにかかるサービス開始	2021年12月6日	サービス開始
		現状のBTC、ETH、LTC、BCH/円に加え、さらなる銘柄の追加通貨を検討	2023年3月期中	検討中
		将来のコスト削減に向けたシステム投資(クラウド移行等)	2023年3月期以降を予定	検討中
	▲	スマホアプリのリニューアル	2022年3月期中	さらなるUI/UXの向上とリリース後の品質管理の高度化に取組中
コーポレートガバナンスの充実	●	投資家向け決算説明会等の充実	2022年3月期末以降、コロナ禍の状況を見つつ再開	2023年3月期より再開
	▲	英文開示資料の拡充	2022年6月より 定時株主総会狭義の招集通知を英訳	第18回定時株主総会招集通知を英訳予定
	●	取締役会の諮問機関として「指名、報酬委員会」を設置	2022年3月期中	2022年2月15日設置
	▲	投資家に対する情報開示の充実、IRサイトのリニューアル	2022年3月期中	更なるセキュリティ機能の強化に取組中
	●	バーチャル併用(参加型)の株主総会の実施	2022年3月期にかかる 定時株主総会より実施予定	2022年6月開催予定の第18回定時株主総会にて実施

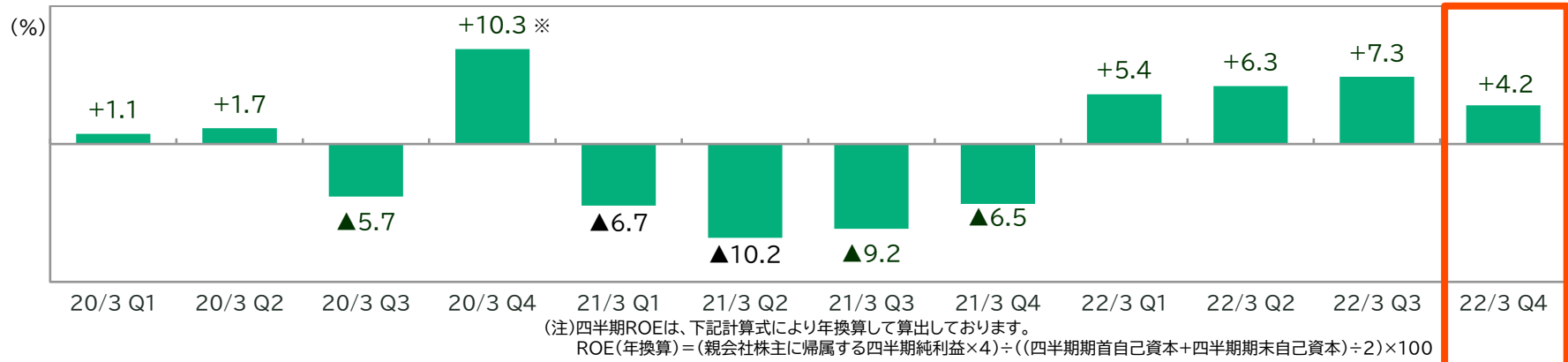
# IV. 当社の経営目標 及び株主還元について



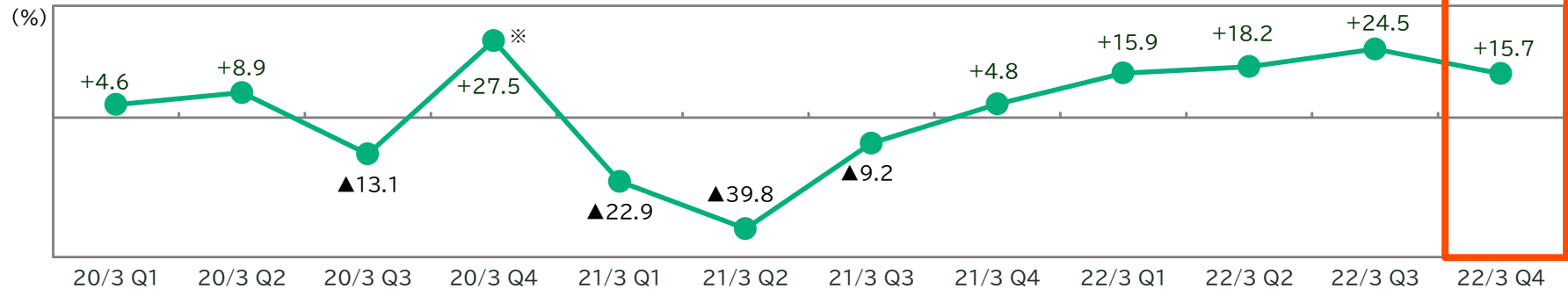
# 当社の経営目標: ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

## 自己資本利益率(ROE)



## 営業収益経常利益率



※2020年3月期4Qについては、3月に新型コロナの影響を受け値幅が10円を超えるボラティルな展開となりました。その影響で営業収益は2010年5月以来の10億円を超えたため、一過性な収益となっております。

# 株主還元について

## 配当方針

配当性向  
親会社株主に帰属する当期純利益の

**30%**を目途<sup>※</sup>

配当機会

**中間及び期末**(年2回)

※配当は、配当性向の目途を30%としつつも財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定

		2021年3月期				2022年3月期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)		▲223	▲332	▲292	▲202	167	199	234	134
上段:3ヶ月 下段:累計		▲223	▲556	▲848	▲1,050	167	366	601	736
配当金の総額(百万円)		16		—		122		122	
期末発行済株式総数(株)		33,801,900		33,801,900		33,801,900		33,801,900	
		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,301)		(内、自己株式1,202,301)	
1株当たり配当金	中間・期末	0.5円		0.0円		3.75円		3.75円	
	年間	0.5円				7.5円			

2021年3月期連結決算において、当社グループの主軸事業であるFXの不振や連結子会社の事業撤退に伴う損失等により親会社株主に帰属する当期純損失となり、誠に遺憾ながら期末配当を無配(通期では50銭)といたしました。2022年3月期連結決算を鑑み、今期の期末配当につきましては1株当たり3円75銭の配当(中間配当は1株当たり3円75銭)とさせていただきます。予定であります。

引き続き基軸事業でありますFX取引を含む「店頭デリバティブ取引」へ経営資源を集中させ、FX取引の商品性の洗練化や新サービスの開始、また、不採算事業の見直し等の「選択と集中」を推進することで筋肉質な会社へと生まれ変わりつつあり、さらなる業績向上と株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元の実現に努めてまいります。



# V. 參考資料



社名	株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長	福島 秀治
設立日	2005年 6月10日
資本金	20億円
純資産(連結)	130億円 (2022年 3月末現在)
発行済株式総数	33,801,900株
連結子会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ

# |||| 連結子会社の代表取締役の異動等

連結子会社の代表取締役及び取締役の異動を、下記の通り行いました。

今後、プライム市場を目指していくなかで、「人材の育成、強化」を課題としており、その中で「グループ企業組織間の連携強化による多様なリソース、知見の融合」を取組みの1つとして掲げております。下記の異動をおこなったことで、さらなるグループ企業組織間の連携を図っております。

## 株式会社マネーパートナーズソリューションズの代表取締役の異動（2021年10月1日付）

氏名	新役職名	旧役職名
白水 克紀	代表取締役社長	<新任>
小西 啓太	取締役副社長	代表取締役社長

## 株式会社マネーパートナーズの取締役の異動（2021年9月30日付）

氏名	新役職名	旧役職名
白水 克紀	<退任>	常務取締役

## 株式会社マネーパートナーズの取締役の異動（2020年12月15日付）

氏名	新役職名	旧役職名
佐藤 直広	常務取締役	取締役

## 株式会社マネーパートナーズの取締役の異動（2021年10月1日付）

氏名	新役職名	旧役職名
上山 文利	常務取締役CIO	取締役CIO

# 四半期連結業績推移

	2021/3期				2022/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)
営業収益	1,030	902	1,123	1,457	1,278	1,253	1,449	1,341
受入手数料	7	9	8	10	9	11	9	8
トレーディング損益	995	851	1,045	1,362	1,211	1,193	1,397	1,258
金融収益	2	1	0	1	1	1	1	0
その他の売上高	23	41	68	83	56	47	40	74
金融費用	43	41	42	79	26	25	23	69
売上原価	10	25	39	47	42	32	25	48
純営業収益	976	835	1,042	1,330	1,210	1,195	1,400	1,224
販売費・一般管理費	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053	1,016
営業利益	▲235	▲346	▲101	73	203	197	347	207
経常利益	▲235	▲359	▲103	69	203	228	355	210
特別利益	0	0	-	▲0	24	2	4	0
特別損失	-	-	189	573	-	1	1	8
税金等調整前四半期純利益	▲235	▲359	▲292	▲504	227	229	357	202
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲223	▲332	▲292	▲202	167	199	234	134

# 月次連結業績指標推移

## ■ 月次連結営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

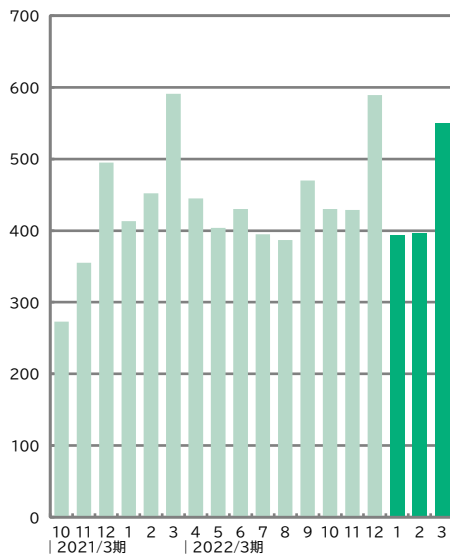
	2021/3期					2022/3期					2022/3期		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益(百万円)	591	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高(百万通貨単位)	97,402	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,238
顧客口座数(口座)	342,122	342,801	343,397	343,817	344,134	344,134	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
顧客預り証拠金(百万円)	59,081	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
内、一般顧客(BtoB以外)	57,346	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306

(注) 1. 営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

2. 2022年3月より、暗号資産CFD取引(差金決済取引)における預り証拠金及び取引高(売買代金を米ドルに換算)はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

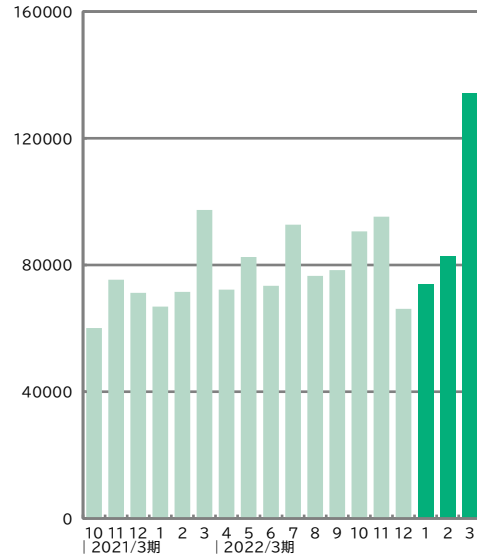
【営業収益】

(単位:百万円)



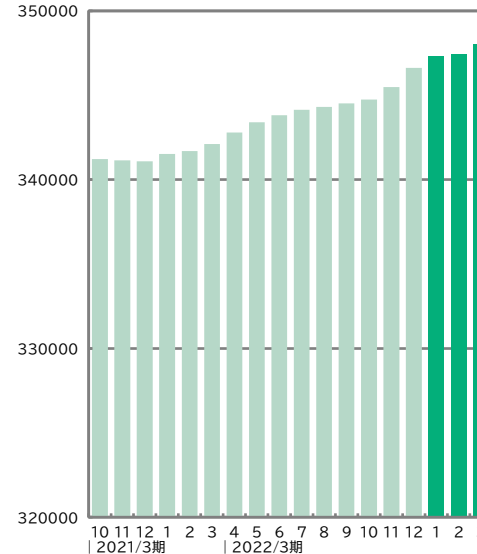
【外国為替取引高】

(単位:百万通貨単位)



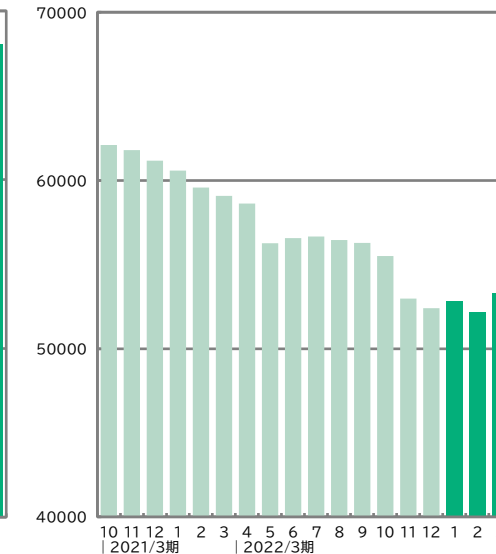
【顧客口座数】

(単位:口座)



【顧客預り証拠金】

(単位:百万円)





# FX取引(外国為替証拠金取引)、商品CFD取引、証券取引、および暗号資産CFD取引(暗号資産関連店頭デリバティブ取引)に関するご注意

## 【パートナーズFXおよびパートナーズFXnano】

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第31項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

取引手数料は無料です。なお、外貨両替については1通貨あたり0.20円、受渡取引については1通貨あたり0.10円の手数料をいただきます。

## 【CFD-Metals】

CFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

## 【証券】

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務、経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

## 【暗号資産CFD】

暗号資産は法定通貨(本邦通貨又は外国通貨)ではなく、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。暗号資産は、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済に使用することができます。

暗号資産CFDは、取引時の価格の変動により、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

暗号資産CFDの取引に必要な証拠金は、取引の額の50%以上の額で、証拠金の約2倍までの取引が可能です。

取引にあたり、営業日をまたいで建玉を保有した場合にはレバレッジ手数料が発生します。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

<商号>株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者、商品先物取引業者)

<金融商品取引業の登録番号>関東財務局長(金商)第2028号

<加入協会>日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会 一般社団法人日本暗号資産取引業協会

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所:プライム市場

証券コード:8732

---

2022年3月期

# 決算説明資料

---

2022年5月11日